

雨天時の交通事故防止！

～速度は控えめに、慎重な運転を～

情勢 ～最も遅い梅雨入り～

今年は、統計がある昭和26年以降で最も遅い梅雨入りとなりました。
広島地方気象台が発表した3か月予報でも、7月～9月は降水量が「平年並み」か「多い」確率が高くなっており、雨天の事故防止に特に配慮する必要があります。

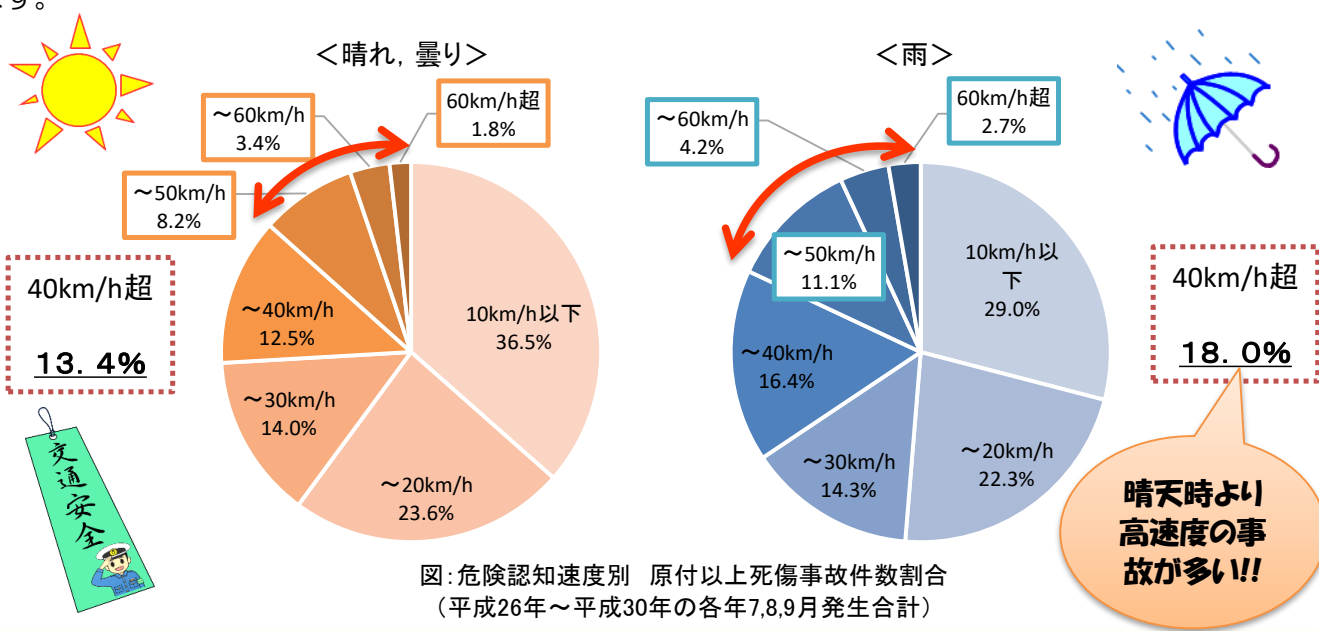
	梅雨入り	梅雨明け
平年	6月7日ころ	7月21日ころ
昨年	6月5日ころ	7月9日ころ
本年	6月26日ころ	？

最も遅い!!

雨天時における交通事故の特徴と注意点

路面が濡れている場合は、乾いているときに比べて停止距離が伸び、速度が速いほどその差は大きくなります。加えて、雨の日は視界が悪くなり、危険度が高くなります。

それにも関わらず、雨天時は晴天時に比べて、高速度での交通事故が多く発生しています。



**晴天時より
高速度の事
故が多い!!**

◎ **速度を控えめに、慎重な運転を！**

雨の日は、晴れの日よりも速度を落とし、車間距離を十分とって慎重に運転しましょう。

◎ **思いやりのある運転を！**

歩行者等のそばを通るときは、泥や水をはねないように注意しましょう。

◎ **愛車精神を持って、車両整備を！**

タイヤの摩耗やワイパーの劣化具合を点検し、不備があれば早めに整備しましょう。

